

渡邊敏男 抄録

## デジタル技工に関するアンケート報告

デジタル技工の普及に伴い、岐阜県歯科技工士会会員の現状の把握と、今後の意向、および効率の良い連携を進める研究事業を目的に全会員対象のアンケートを実施したので報告する。年齢別、職場環境、地域など出来る限り分析した。今後の事業に活用していく予定である。

## 「オーラルスキャナと CAD/CAM システムの連携を目指して」

日本歯科技工士会 会員

愛知県歯科技工士会 会員

黒見正太

ラボサイドでは2014年にCAD/CAMが保険収載されて、デジタル機器の普及率が大きく上昇しました。近年ではチェアサイドにおいてもオーラルスキャナが注目され、いよいよ本格的なデジタルデンティストリーの到来と感じさせられます。

実際にオーラルスキャナのデータを用いて補綴物を制作しているなか、一般的な印象採得とデジタル印象との違いに注意が必要なケースも散見されます。

今回はオーラルスキャナの特性とCAD/CAMシステムの特徴を踏まえ、その連携を活かしたシステムを紹介したいと思います。

林千菜美 抄録

デジタル技工

～3Dプリンターの臨床応用(コバルトクロム編)～

3Dプリンターの基本的な説明からどのように3Dプリンターを利用しているかを臨床例を交えながら技工がどのように変わるのかを工程毎に紹介していきます。

安達健太郎 抄録

スキャナー 3 機種と CAD ソフト 4 種類を比べてみる

私のラボでは今までにスキャナー3 機種、CAD ソフトは 4 種類使用してきた。

現在では 2 機種のスキャナーと 2 種類の CAD ソフトを主に使用している。

CAD/CAM 冠をはじめジルコニアクラウン、フレーム。また、メタルボンド用コバルトクロムフレーム。インプラントブリッジやカスタムアバットメントなど様々な補綴装置がデジタル技工に置き換わってきている。歯科技工からワックスアップ作業は完全になくなることはまだないと考えるが、少しずつブンゼンバーナーの前に座りインスツルメントを持つ時間よりパソコンの前でマウスを操作する時間が増えていくであろう。

現役引退した機種も含め作業工程や使い勝手を動画を交えて解説していく。

新川哲矢 抄録

### 小規模ラボのデジタル活用法

CAD CAM 冠が保険収載されるようになってからデジタル機器が普及し小規模ラボでも導入が可能となった。当初はスキャナーのみ導入によりデータを送信し加工をアウトソーシングしていたもののエントリーモデルの選択によってスキャナー、CAD /CAM、加工機、シンタリングファーンをシステム化しインハウスで完結出来るようになった。それは単に CADCAM 冠の為のハイブリッドレジンブロックの加工のみならず各種の素材を加工し補綴物製作に応用出来る可能性を示唆している。自身が行っているこれらデジタル機器の活用法と効率化による作業時間の短縮の現状を示したい。